

地域に出て 初めてわかること

関東総合通信局情報通信部情報通信連携推進課長
道祖土 直美 SAIDO Naomi

平成10年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部人材開発課
平成10年 7月 郵務局企画課
平成13年 1月 郵政企画管理局郵便企画課
平成14年 8月 郵政企画管理局総合企画課
平成15年 4月 情報通信政策局地域通信振興課
平成16年 7月 情報通信政策局情報流通振興課情報流通高度化推進室企画係長
平成18年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課企画係長
平成20年 7月 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課研究専門職
平成22年 7月 情報通信国際戦略局通信規格課標準企画係長
平成24年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課調整係長
平成26年 8月 情報通信国際戦略局情報通信政策課制度係長
平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

週初めは部局の連絡会議に参加して業務報告。課の職員にフィードバックし、職員からは業務の進捗状況等報告。

Tuesday

本省の報道発表を確認、外の講演会に参加。有益な情報を局内の関係課や自治体等必要と思われる方に提供。



Wednesday

各総合通信局参加の会議に参加し、当局の取組を説明。他局の動向も把握、次年度に向けた意見交換。

Thursday

職員から今後開催のイベントの説明を受け、幹部等へのレク資料を作成。

Friday

来週の業務スケジュールを確認。午後は関東ICT推進NPO連絡協議会幹事会を開催し、幹事から次年度の計画を発表、意見交換。

『研究開発・NPOの地域の情報化活動の支援』

地域に根ざした大学等の研究者やICTのベンチャーに対して、SCOPE、I-Challenge!などのスキームを使ってICT分野の研究開発を支援しています。管内に大学は多くありますが、提案は一部の大学に限られているため、大学、自治体等へ赴き、施策の周知、要望や課題等をヒアリング、改善事項があれば本省に要望し、地域の研究者が活動しやすい環境づくりを進めています。

また、地域の情報化を進めるのは企業や自治体だけではありません。管内のNPO等が連携した組織「関東ICT推進NPO連絡協議会」を組成し、NPO等による地域の情報化活動の支援も行っています。関東総合通信局には、東京のような大都市もあれば、山間の小さな市町村もあります。良くも悪くも情報が氾濫する時代の中、自分にとって必要な情報を取捨選択するのが難しくなっています。その中で、総合通信局の役割は、それぞれの地域の特性を踏まえた対応が求められているといえます。

『地域のためにできること』

私は入省以来、他省庁への出向含め、本省(霞ヶ関)に勤務しており、初めて地方組織の勤務となりました。管内には1都7県あり、地域によって全く事情が異なります。そのため、求められる支援も都道府県市区町村の数だけ多様になり、日頃の接触の中で相手のニーズを把握し、きめ細やかな対応が重要な役割と思っています。総合通信局に出て実感したのは、現場最前線にいる分、地域の抱える切実な課題に直面し、本省の施策が必ずしも地域の事情にあわないことがあり、一律のやり方は通じないことがあるということ。この点、本省に在籍していた過去の自分を振り返ると反省することもあります。今ここにいる私にできることは、問題を認識した際、現在本省に在籍する同僚や上司に問題点を率直に伝えて、一緒に打開策を探り出すことだと思っています。今後、私が本省に戻った際は、こうした現場経験に裏付けられた施策を打ち出していきたいです。



Private Time

毎年、職場の同僚を誘ってスキー(ボード)に出かけています。白銀の世界にひとたび出ると一気にストレス0になります(スキーはどうでもいいのかも)。最近はおもった日帰りメインですが、出発時間が少し遅くなった気が。。。メンバーは毎年替わりますが、新規の勧誘はトイレかコピー機前で。オフシーズンは、旅行、パン作り、ヨガなど。